

2010年4月27日

各 位

双日株式会社

双日マシナリー、中国ペトロチャイナのLNG受け入れ基地向けに
住友精密工業製LNG気化装置を連続受注

双日株式会社の100%子会社で機械商社である双日マシナリー株式会社（本社：東京都中央区、代表者：中島和彦）は、中国の大手石油会社である中国石油天然気（ペトロチャイナ）が江蘇省如東および遼寧省大連で建設中の液化天然ガス（LNG）受け入れ基地向けに、住友精密工業株式会社製のオープンラック式LNG気化装置6基を連続受注しました。

この度、如東向けの3基の引き渡し完了し、5月には大連向けの3基の引き渡しを実行します。ペトロチャイナにとって初のLNG受け入れ基地となる如東・大連の基地建設計画は、総事業費約1750億円の大型プロジェクトです。LNGはカタールや豪州などから輸入され、中国国内で工業用あるいは都市ガスとして利用されます。LNG受け入れ基地は、2011年第1四半期に稼働開始の予定です。



LNG 気化装置は、マイナス 162℃の LNG を天然ガスに気化させる装置で、LNG 受け入れ基地の主要機器です。住友精密工業製のオープンラック式 LNG 気化装置は、多数の伝熱管を並べたパネルの外面に海水を流して温めることにより内部の LNG を気化させます。海水を利用するため、運転コストが低く経済的で、監視や保守点検も容易というのが大きな特長で、信頼性・安全性に優れています。

LNG は、石炭や石油などに比べて燃焼時の二酸化炭素排出量が少なく、硫黄酸化物や、ばい煙が発生しないことから環境に優しいクリーンエネルギーとして注目されています。双日グループでは、これまで欧州、北米、韓国、インド、中国などで LNG 気化装置や周辺機器の受注実績があります。

中国では、エネルギー不足の解消と環境への配慮から天然ガスの需要が拡大しています。中国の天然ガス消費量は年 10%以上のペースで増加しており、2020 年には現在の約 2 倍になると予想されています。中国では著しい経済成長を背景に、LNG 受け入れ基地の建設計画が相次いでいます。双日マシナリーは住友精密工業とともに中国市場に注力し、さらなる受注を目指します。

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-5520-3188